

【お 願 い】

ゴミは決められた日に
決められた方法で出しましょう。

- 一般ゴミ 毎週 火・木・土曜日
- 缶・瓶 毎週 金曜日
- プラスチック 毎週 水曜日
- 乾電池 毎週 木曜日
- 粗大ゴミ 戸別収集
(絶対にゴミ置き場に出さないください)

資源ゴミはできるだけ第3日曜日の子ども会の資源回収に出すようご協力お願いします。



第2号の題字を復刻しました

第 20 号

発行日 平成 23 年 2 月 5 日
 発行 自治会法人 御園南自治会
 発行責任者 篠塚 実希子
 住 所 相模原市御園 4-15-25
 電 話 042-748-4198
 編 集 自治会広報部
 会員数 3 6 5 (H22・12・1 現在)

自治会館建設委員会

十二月二十五日に自治会館建設の寄付の第一回目の集金を行いました。
 左記のように一五〇世帯の方から百八十二万円のご寄付をいただきました。当初計画よりも広い土地を購入することの為に資金計画を見直し、300万円を目標に寄付を募ることになった経過(下表、寄付趣意書からの抜粋)をご理解いただき、多くの世帯からご寄付をいただきました。
 ご協力、大変ありがとうございます。

第 1 回寄付の状況

ご寄付いただいた世帯数 1 5 0 世帯
 ご寄付いただいた口数 3 6 4 口
 ご寄付いただいた金額 1 8 2 万円

以上の他に、3月以降の寄付の申込が13口ありました。

(当初計画と現在の計画との差異 単位千円)

寄付趣意書からの抜粋

	当初計画		現行計画		増減		備考
	坪	千円	坪	千円	坪	千円	
土地	50	12,500	80	18,400	30	5,900	
建物	35	17,337	42.5	17,459	7.5	122	
費用計		29,837		35,859		6,022	注1
資金		29,237		32,937		3,700	注2
不足		600		2,922		2,322	注3

注1 付帯設備、諸経費、消費税を含む総合計

注2 補助金、借入金、自治会一般会計からの捻出額を含む合計額

注3 寄付目標額300万円(2,922→3,000)

第2回募集 3月6日(日) 十時~十二時

御園南自治会館

寄付趣意書にてお願い致しましたように、会員各世帯1口(5千円)の任意の寄付となっております。
 第2回の寄付募集は、左記のとおりを実施いたします。まだご応募いただけない場合は、なにとぞ各世帯1口以上のご応募をよろしく願っています。
 [自治会館建設委員会 藤村光]

いきいきサロン御園南



九月十六日は「敬老の日お祝い会」と兼ねて行い、ウクレレ演奏・マジックショー他を楽しみました。また、十二月十五日のクリスマスはフラメンコやビンゴゲームで盛り上がり、笑顔あふれるサロンとなりました。
 新しい年の始まりには、新年会を企画しています。語らいの中に『いきいき』が溢れています。



毎月第三水曜日の十時より
 御園南自治会館にて開催
 連絡先 浜田 七四二一〇四三〇
 小及 七四三二一五二〇八

文化祭



青空に菊の花香る十一月三日の御園文化祭、今年は二会場で開催されました。自治会館には絵画をはじめとする作品の展示外には菊花展、自治会建設予定地では、子供会の皆さんによる焼きそば、ゲーム、自治会の皆さんによる焼きとり、ドリンクなど、内容盛り沢山で行われ、多くの人が集まりました。お母さんにフウフウしてもらって食べる豚汁に、幼子の笑いが聞こえ、「ヨイショ！ヨイショ！もうひとつヨイショ！」のかけ声に合わせて打つ杵餅。つきたてのお餅に手早きな粉をまぶすエプロン姿のお母さん達、その辺に腰をかけ「ノドに詰まらせないで」と声を掛け合う老夫婦等、和やかな集いの中に色々な光景が見受けられました。

午後からはヘンテコなのに何故かピツタリ姿のタヌキさんの登場です。「黄金バット」の紙芝居は、ある人には懐かしく、またある人には新鮮だったでしょう。そしていよいよお楽しみ抽選会で祭りのピークを迎えました。「それでは五等賞からまいります。」と篠塚会長の進行が始まり、賞の当たるたびに起こる拍手と歓声のうちに一等賞までを受与し終わりました。

若くて美人の双葉小の教頭先生や、よりよい町づくり・地域振興推進の要の大槻議員、菊同好会の方々、組長さん、ボランティアでお手伝い頂いた方々、その他関係者の皆様、ありがとうございました。

〔体育副部長 保科晴雄〕

御園菊の会 活動紹介

菊の会は発足して十三年、当初は二〜三人でしたが現在は八名です。皆さんは毎年秋になるといたるところで開かれる菊花展を観て「自分もやってみたい！」と思つたことはありませんか？しかし、「菊作りは難しい」「育てるのが大変だ」などと二の足を踏まれている方も・・・私達菊の会のメンバーも初めはそうでした。でもいざ始めてみると、「意外と手軽に楽しめる、育てやすい花だ」とわかりました。その反面、毎年同じようにやっているのに、気候等に左右されて満足のいくものが出来ず失敗の連続もあり、本当に奥深いものだと思われられます。でもそこが魅力というか、来年こそはよりいいものをと、いつの間にかのめりこんでしまっています。

また菊づくりの一部をあげれば
☆一・二月 古株の管理と腐葉土

づくり ☆三・四月 古株の芽摘みとさし芽の準備 ☆五・六月 さし芽と小鉢への移植と摘心 ☆七・八月 定植と柳芽の処理・支柱による仕立て ☆九・十月 つぼみの選定と輪台づけ等 ☆十一月 展覧会への出展準備 ☆十二月 菊の後始末と来年への準備
尚、水やり肥料やり消毒は、成長を気遣いながら年間を通して実施しなければなりません。昨年は猛暑で大変苦労しました。こうした作業を会員同志が研究し、意見交換をし、切磋琢磨することによって、結束という強い団結力が生まれます。またこのような過程で反省会・親睦会も取り入れて楽しくやっています。

皆さんも菊づくり
にチャレンジしてみ
てはいかがですか。
〔御園菊の会々長
佐藤 忠〕



「8自治会合同防災訓練」

十月三日（日）、午前9時より、第十回8自治会合同自主防災訓練が、双葉小学校校庭及び体育館で行われました。この訓練は双葉小学校を災害時の避難所指定とする8自治会（御園南・御園五丁目・御園西・御園みゆき台・松原・振興・むつみ・大沼）の自主防災隊で構成され、今年で十一年目の

開催となります。大規模な災害時に備えて、公的な防災機関と自主防災の組織的対応のもとに災害対応訓練を積み重ね、関係者のスキルアップと参加者の防災意識向上を図る事を目的として実施されてきました。地域の人々が協力しあって災害に立ち向かい「自分たちのまちは、自分たちでまもる」という指向の実現でもあります。

晴天の下、約700名（御園南130名）

第26回 御園

文化祭での売上の一部を自治会館建設基金へ繰入いたしました。内訳は以下のとおりです。

バザーの売上	16,650
雑収入	10,000
模擬店の収益	28,998
〔売上	88,550
材料費	59,582

ご協力ありがとうございました。〔会計 前田洋一〕



の方々が参加され、一人ひとりが真剣に訓練を体験されました。

訓練内容は、初期消火、救出救助、応急、救護、給水濾過、給食、仮設設営、要援護者支援、生活支援、起震車体験、煙体験、防災ビデオ鑑賞、避難所運営の13項目で、この訓練の中から、各自、訓練参加チケットの告知により30分を1単位として3項目の訓練が受講できました。訓練終了後には、各自主防ごとに給食試食(カレー)を行い、和やかな親睦のひとつきを過ごしました。

来賓には小星副市長にご臨席いただき、開会式でのデモンストレーションでは、地元消防団により、消火デモ・小型ポンプ操作法の迫力のある素晴らしい演技を披露していただきました。また、ミニ消防車の展示を行い、ミニ消防服を着て消防車に乗り、校庭を廻る児童達の姿もみられました。

今回の合同防災訓練は、御園南自治会が幹事自治会を受け持ち、我自治会館で5月から6回の合同防災会議を重ね、企画運営を担当致しました。苦勞もありましたが、多くの皆さまにご参加いただき、役員、組長の皆さま、そして関係諸団体の皆さまのご協力をいただき訓練を無事に終了する事ができましたことを深く感謝申し上げます。

災害はいつ起きるかわかりません。その災害時に備える為に、訓練を積み重ね、いざという時に適切な行動がとれるようになる事、そして防災意識を高める事、また日頃から地域の方々、ご近所との関係づくりを大切にする事が必要かと思えます。双葉小学校避難所指定地域の皆さまや関係機関の方々とは1年に1度ですが、顔を合わせて一緒に訓練を積み重ねる事は、地域の人々が協力しあって災害に立ち向かうための組織づくりの実現にも大事な役割を果たしている体験と考えます。

ご協力いただきました関係諸団体の皆さま、運営にご協力をいただきました役員の方々が本場にありがとうございました。〔自治会長 篠塚実希子〕

***協力団体**
市消防局南消防署・市消防局麻溝台分署・市消防団(7・9分団)・市危機管理室・市健康福祉局、地域福祉課・市社会福祉協議会・相模原災害ボランティアネットワーク・ガイドボランティアの会・市防災協会・南区役所総務課・黒河内病院・介護老人保健施設相模大野・県立さがみ緑風園・双葉小学校・双葉小学校PTA・各地区自治連・各地区防災専門員



賀詞交歓会



1月9日(日)

御園南 賀詞交歓会

26名が参加。



年末警戒パトロール



寒い中御苦労さまでした。
十二月二十六日～二十八日
合計四十一名の参加でした。

地域と学校の心のつながり

双葉小学校に赴任して二年目になります。この間一番感じたのは、地域の皆様にとってもお世話になり、学校を育てていただいているということです。毎日感謝の気持ちでいっぱいです。

これまで学校は、家庭・地域との信頼関係の充実に基に、地域の方には読み聞かせやサマースクールでの講師などに関わっていただき、活動内容だけでなく、地域の方々とのふれあいから、学びや人としてのあり方を伝えていただきました。

また、安全面での地域支援として「ふたばっ子みまもり隊」があります。交通事故や不審者情報が毎日のように聞かれますが、住友代表を中心に約七十名で構成されている隊員に暑い日も寒い日も登下校時に見守っていただいています。特に御園地域は約八割五十名近い方が活動してくださっています。お陰様で今年度は



交通事故もほとんどなく命を傷つけずにすんでいます。また、温かい言葉がけ、眼差しなど愛情もたっ

ぷり注いでくださり、心温まります。冬休みの児童会の約束では「よくできたね」カードが配付されました。その中の一つ、『「き」は近所の人にあいさつをしよう』というものでした。子ども自身、みまもり隊の方や地域行事を通して、感謝や思いやりの気持ち、地域の中で生きていることを少しずつ感じているようです。子どもの心の成長を感じ、嬉しく思います。

私が大切にしていることは、子ども、職員、地域の方への声かけです。返してくださいの言葉がとても楽しみです。心が動かされるからでしょうか。子どもも近所の方へ勇気を出して挨拶をすることと思えます。今後とも子どもへの声かけ見守りを宜しく願います。

〔双葉小学校 教頭 牛島一美〕

まだまだ減らせる！

ゴミの減量化・資源化のためには「正しい分別」が必要です。ゴミの中にはまだまだ多くの資源になるものが入っています。例えば、DMの封筒やメモ用紙などの「雑かみ」は、雑誌に挟んで出すと資源化できます。(フィルムや金具などは外してください。)

また、「容器包装プラスチック」はリサイクル識別表示マークに注意!! プラスチック製品はリサイクル対象外です。

相模原市の家庭から出されるゴミは一年間に約十五万トン、ゴミ処理にかかる費用は市民一人当たり九七八八円(H一九九年)です。なるべくゴミを出さないようなライフスタイルを心がけ、きちんと分別して「ゴミの減量化・資源化」に積極的に取り組みましょう。

「ゴミの分別」大丈夫？



分別に迷ったら

「ごみと資源の日程・出し方」パンフレットをご覧ください。

コールセンター ☎770-7777

決まりを守らないゴミは収集されません。皆様のご協力をお願いします。

生ゴミの水切り していますか？

水分をよく切ることで、減量化につながるだけでなく、ゴミ集積所をきれいに保つことにもなります。

お料理講習会

無添加の保存食「福神漬」

二月二十一日(月) 十時～

御園南自治会館にて

参加費 三〇〇円

気軽におしゃべりしながら
お料理を楽しみましょう。



10月24日(日)文化祭に先立って、一斉清掃を実施しました。80名以上のご協力により、御園4丁目みなみ公園、自治会館周辺、新自治会館予定地があったという間にきれいになりました。お疲れ様でした。

「地域一斉清掃と 花いっぱい運動」